

令和4年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	看護病態学	分野/教育内容	専門基礎分野/疾病の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年前期 令和 5 年 2 月 20 日	単位数/時間	1 単位/15 時間
担当講師名	金沢 瞳	所属・役職	県立宮古高等看護学院・専任教員
		資格・免許	看護師・医療リンパドレナージセラピスト
授業の概要	解剖生理・病因と病変の知識を活用して、看護の視点から病気を理解する		
到達目標	看護を行ううえで、重要な症状・徴候の病態生理の理解とその症状を持つ対象に必要な看護のポイントを理解する		
事前学習内容	次の授業の症状について、対症看護を参考に、自己学習に関連する疾病と治療のテキストを準備したうえで、授業に臨む		
成績評価の方法	終講試験（授業の第 1 回から第 7 回分と終講試験に向けた自己学習・関連図の取り組みも含む） （100 点満点）		
使用テキスト	● 学研 看護過程に沿った対症看護（第 5 版） ● 参考テキスト：医学書院 解剖生理学（第 11 版）、その他自己学習に必要と感じた「呼吸器」「循環器」「内分泌」「脳神経系」等の疾病と治療の授業に関連するテキストを授業に持参する		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	授業概要の説明、取り組みの進め方についてオリエンテーション 「発熱」症状を示す対象の理解と看護のポイント ①		講義・個人ワーク
第 2 回	「発熱」症状を示す対象の理解と看護のポイント ②		個人ワーク
第 3 回	「悪心／嘔吐」症状を示す対象の理解と看護のポイント ①		
第 4 回	「悪心／嘔吐」症状を示す対象の理解と看護のポイント ②		
第 5 回	「腹痛」症状を示す対象の理解と看護のポイント ①		
第 6 回	「腹痛」症状を示す対象の理解と看護のポイント ②		
第 7 回	「呼吸困難」症状を示す対象の理解と看護のポイント ①		
	終講試験 90 分		
履修上の留意点	・ 個人ワークをメインで進めていくので、自分なりの学習の仕方や関連図のまとめ方を試行錯誤しながら、主体的に取り組むこと ・ 不明な点は、その場で積極的に質問し、分からないところは授業の中で理解するように努めること ・ 実際の臨床場面で応用することをイメージしながら授業に取り組むこと ・ 教科書だけではなく、他の文献も最大限に活用しながら自己の知識を深めること		